

戦略タスクフォースリーダー 養成プログラム（案）

【プログラムの目的】

企業におけるオープン&クローズ戦略などの実践において、企業の複数部門からなる戦略タスクフォースを組織・運営して、経営トップに提言をおこなう「戦略タスクフォースリーダー」の養成

東京大学政策ビジョン研究センター知的資産経営研究講座では、NEDOのプログラムの一環として、オープン&クローズ戦略などの知的資産経営戦略のあり方と、その実践のためのマネジメント方法の研究に取り組んでまいりました。今回その研究成果をもとに、企業が実際に高度な知財マネジメントを含む知的資産経営戦略を社内で展開するための「戦略タスクフォース」を主導的に担うことのできる人材育成プログラムを企画いたしました。

【知的資産経営戦略タスクフォースリーダーとは】

- 経営トップまたは対象とする事業部門長の指示のもとに設置する全社戦略または事業戦略実行のためのタスクフォースのリーダー
- 異分野における新事業開発、事業の新興国などへの海外進出、研究開発成果の事業化、などを試みようとする全社横断型プロジェクトのリーダー
- タスクフォースを起案し、必要な知識をメンバーに提供し、議論をリードしトップに提言を行うチームのリーダー

※戦略タスクフォースリーダーの候補者としては、大企業の全社企画部門や事業部門におけるミドルマネジャー（役員クラスの参謀役）、研究開発・技術開発リーダークラス、中小企業の社長または社長後継者などを想定していますが部門や技術系か事務系かは問いません（知財部門を対象とした知財管理の研修ではありません）。

- （A）タスクフォースを指揮するに当たり戦略性の高い知的資産経営を導入したい
- （B）自社事業を高収益事業にするために知的資産経営を活用したい
- （C）自社の技術資産を知的資産経営によって最大限に活用したい。

などの意思を持つ社員が候補者となると考えています（企業ではなく自治体や公的研究機関、ファンディングエイジェンシーなどでも戦略タスクフォースリーダーが必要になる場面があります）

戦略タスクフォースリーダー養成プログラムの概要

【内容】

- オープンクローズ戦略、新興国イノベーション戦略、デザインドリブンイノベーション、標準を利用したビジネス戦略、カーブアウトベンチャーマネジメント、パブリックファンディングマネジメントの考え方と事例を理解する
- タスクフォースの企画方法や運営の要点を習得する
- タスクフォースリーダーとしてのコンセプトづくりや指導法などを身につける

【プログラムの構造】

- ①標準講義モジュール7コマ ②
ケーススタディーモジュール6コマ
③個別指導プログラムの3階層のモジュール3コマと、④共通トレーニングモジュール3コマ、の4つのモジュールからなるプログラムの履修（並行して各科目のコンテンツ責任者の課題に取り組む）

共通

共通（指導法やコンセプトづくりの要諦、学びの成果の活かし方など、タスクフォース実施のための共通基盤）

第3層

個別テーマ指導（このテーマでタスクフォースをやりたいという具体的指導）

第2層

ケース演習（「知っている」から「分かった」へ、実践の準備としての理解）

第1層

知的資産経営基礎セッション（過去のスクールやビジネス塾のエッセンスを講義形式で提供）

※従来から横断的社内プロジェクトはしばしば実施されてきましたが、十分な準備と知識なしリーダーに任命されてスタートする例が多かったのではないのでしょうか。特にオープン&クローズ戦略などの実践については、事前に基礎的な考え方を習得することは不可欠です。本プログラムはこのようなタスクフォースの準備のためのプログラムと位置付けられるものです。

【第1層：標準講義モジュールの科目例】

- ・標準講義科目 経営戦略の基礎と製造業における知的資産経営戦略、イノベーション戦略と知的資産経営、国際標準等のオープン&クローズ戦略、プラットフォームビジネス、デザインドリブンイノベーション、ノウハウ技術資産管理（営業秘密保護）、他
- ・特別座談会 タスクフォースの組織化と運営のポイント

【第2層：ケーススタディーモジュールの科目例】

- ・国際標準における事業戦略、戦略的知財管理と契約マネジメント、新興国との連携、研究成果の事業化とイノベーション・エコシステム、知識労働者の人材マネジメント、政府研究開発プロジェクトのマネジメント、オープン&クローズ戦略を具体的に立案・実行していくためのプロセスの検討、他

【第3層：タスクフォース準備個別指導モジュール】

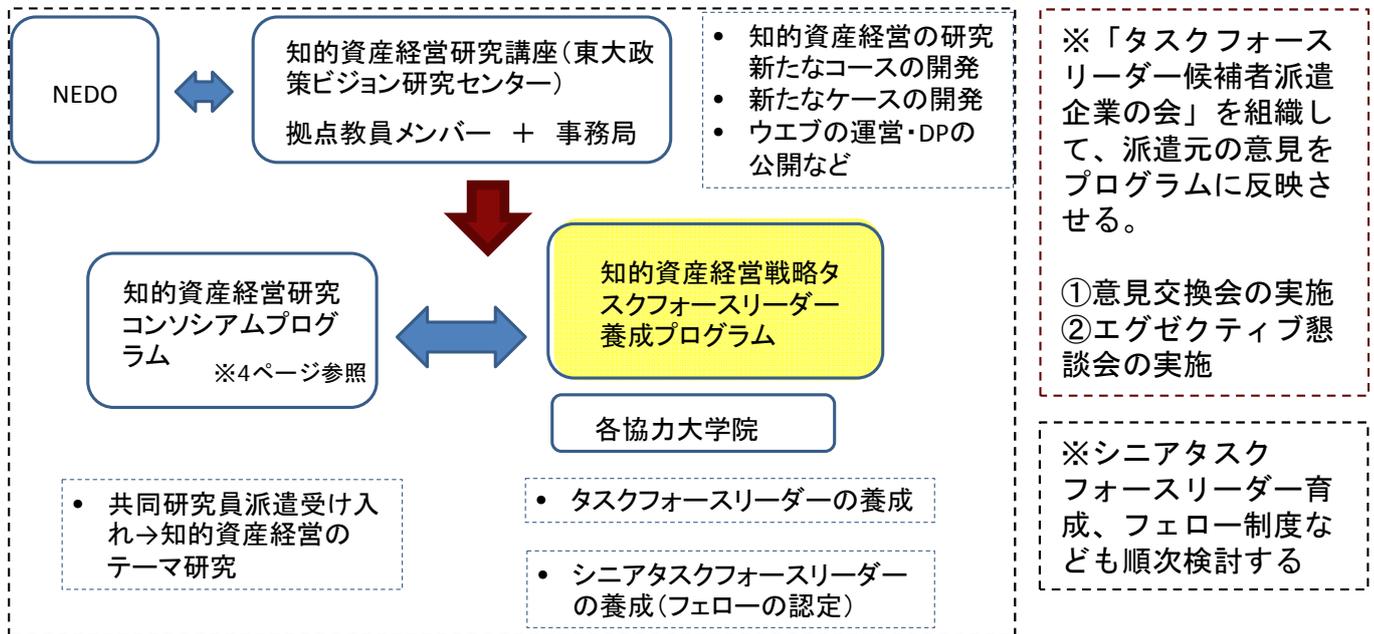
- ・個別に企業のテーマを持ち込んでいただきます（秘密保持を締結）。（テーマ例）
- ・具体的なテーマでのタスクフォースの進め方、特定技術の活用のためのビジネスモデル立案、新規事業における知的資産経営戦略（オープン&クローズモデル）、カーブアウトベンチャー構想、過去のタスクフォースの評価、特定技術のオープンイノベーション戦略、国プロの組成と戦略的管理、特定事業領域における新興国との連携戦略、特定技術分野における競争優位のための戦略的知財マネジメント

【共通モジュール】

- ・知的資産経営戦略事前設計のためのコンセプトづくり、タスクフォース組成のための指導方法、人材育成手法の基礎 他

実施体制案

東京大学政策ビジョン研究センターを事務局として、研究コンソシアム（※次ページ参照）とも連携しながら、複数大学院の教員によるプログラムを組織する



担当教員

(東京大学)

- ・ 新宅純二郎 (大学院経済学研究科教授)
- ・ 元橋一之 (大学院工学系研究科教授)
- ・ 各務茂夫 (産学連携本部教授)
- ・ 渡部俊也 (政策ビジョン研究センター教授)
- ・ 小川紘一 (政策ビジョン研究センター客員研究員)
- ・ 二又俊文 (政策ビジョン研究センター客員研究員)

(金沢工業大学)

- ・ 杉光一成 (大学院知識創造システム専攻教授)

(筑波大学)

- ・ 立本博文 (大学院ビジネス科学研究科准教授)

(NPO法人産学連携推進機構)

- ・ 妹尾堅一郎 (理事長)

(東北大学)

- ・ 福嶋路 (大学院経済学研究科教授)

(名古屋大学)

- ・ 犬塚篤 (大学院経済学研究科准教授)

運営委員会

コースの新規開発・改廃等は教員とアドバイザーボードをメンバーとする運営委員会にて決定。

アドバイザーボード

- ・ 柳生一史 (味の素株式会社 知的財産部長/上席理事)
- ・ 長澤健一 (キヤノン株式会社 取締役 知的財産法務本部本部長)
- ・ 戸田裕二 (株式会社日立製作所 知的財産権本部 副本部長)
- ・ 江村克己 (日本電気株式会社 執行役員)

※知的資産経営研究講座アドバイザーボードは日本経団連から推薦をいただいた企業の知的資産経営の実践を指導されている4名の経営者・幹部のみなさまに、講座の運営や企画のアドバイスを頂いております。

開講予定

2015年度第一期募集予定 (定員8社) 募集時期 2015年2月以降

お問い合わせ 東京大学政策ビジョン研究センター 知的資産経営研究講座 事務局

電話:03-5841-8608 E-mail:office@wlab.rcast.u-tokyo.ac.jp

2014年度NEDO 知的資産経営研究講座 「戦略タスクフォースリーダー養成」 実証プログラム

【主旨】3年間のNEDO知的資産経営研究講座の成果として提案する「戦略タスクフォースリーダー養成」プログラムの各モジュールの一部について、タスクフォースリーダー養成効果検証のため試験的に実施します。

【時期】2014年10月～11月にかけて3日間（毎週土曜日）

【場所】東京大学伊藤国際学術研究センター内

【費用】無料

10月25日	ガイダンスと俯瞰講義	ガイダンスと第1層から1コマ
11月1日	実証プログラム 第1回	第1,2層モジュールから2コマ
11月8日	実証プログラム 第2回	第2層,共通モジュールから2コマ

【対象者】知的資産経営戦略タスクフォースまたは類似の活動の実施計画があるか、実施を将来検討する可能性のある企業の“経営者または担当部門長の推薦を受けた社員”（地方自治体や、政府等の公的機関の場合はご相談ください）

【公募期間】9月11日（木）～9月30日（火）

【面接審査会予定日】10月9日（木）17時～、10月10日（金）17時～
10月11日（土）15時～ 予備日10月14日（火）17時～
いずれも東京大学本郷キャンパスにて

【申込方法】HP申込ページよりお申込ください。（URLは後日掲載いたします）

【採用企業数】4社～8社

【問い合わせ先】東京大学政策ビジョン研究センター 知的資産経営研究講座
事務局 電話:03-5841-8608 E-mail:office@wlab.rcast.u-tokyo.ac.jp

